

外部寄生虫について

暖かくなってきてお出かけの楽しくなったこの季節。いつもより少し長めのお散歩、愛犬と一緒にのお花見、アウトドア、ちょっと早い屋外での…。考えるだけでもワクワクしますね。

でも暖かくなってきたということは愛犬の天敵「ノミ・マダニ」達も活動を始める時期だということ。愛犬との楽しいお出かけを楽しむためにも、改めて「ノミ・マダニ」について勉強しませんか？

今回の特集では知っているようで知らなかった「ちゃんと知りた
い！ノミ・マダニのこと」と題しノミ・マダニの基礎知識をお届けし
ます。

「ちゃんと知りた い！ノミ・マダニのこと」

どこにいるの？ ノミとマダニ

ノミもマダニも生きていくために必要な栄養を取れる場所ならどこでも生息できます。ノミは家の中にあるごみや塵、食べかすなども栄養源にできるので、屋外だけに存在するものではありません。またマダニはアウトドアで訪れる山や森、お散歩する公園や河川敷などの草木が茂る場所で、ワンちゃんに寄生するのを静かに待っています。

室内外いたるところにノミやマダニはいると考えておいた方が良いでしょう。

お出かけ先の危険ゾーン

いつものお散歩コース、休日に一緒に遊ぶ公園、ちょっと遠出して訪れる場所をイメージしてみましょう。草木の生えているところがとても多いのに改めて気が付いたのではありませんか？

マダニがいる最も危険なエリアは草むらです。しかし草むらはワンちゃんにとっては好奇心をくすぐられる場所。いくら気をつけて草むらから遠ざけようとしても限界があります。またノミはお散歩仲間との接触で移ることもあります。

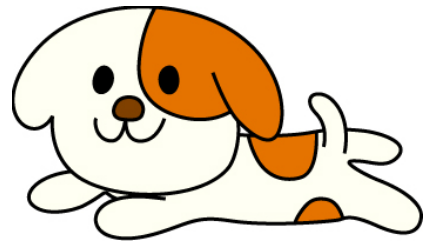


お外ではどこでも愛犬がノミ・マダニにご対面してしまう危険ゾーンだと認識しましょう。

お家の中の危険ゾーン

ノミが好むのは高温多湿な場所。1年中エアコンで室温が一定していて更に加湿器で湿度も保っている室内はまさに心地よい住処となります。

愛犬が連れて帰ってきてしまった1匹のノミが卵を産み、心地よい屋内で大繁殖し再び愛犬に寄生したり、一緒に飼っている他のペットに寄生するのはよくあることです。ノミはじゅうたんやソファの下、フローリングのつなぎ目などでゆっくり成長してしまうのです。ペットの寝床も例外ではありません。外でも家でもノミは「どこにでもいる」と考えておいた方がよいでしょう。



何で怖い？ ノミとマダニ

ノミ・マダニが怖いと言われる最大の理由は何ととっても「とっても身近な場所に感染の危険性がある」ということです。草むらの中に顔をうずめてクンクンする姿はどのワンちゃんにも見られるものでしょう。しかし、そんな日常のシーンをスコープで見ると…。ほら、マダニがワンちゃんのお顔めがけてジャンプ！ こんな目を覆いたくなるのが実際に起こっているのです。

ノミは犬の体に寄生する最もポピュラーな寄生虫です。かゆみをもたらし、アレルギー皮膚炎の原因ともなります。また、血を吸われることで貧血を引き起こしたり、ノミが運ぶ病原体が人にも感染する危険があるのです。

一方、マダニも寄生すると激しいかゆみをもたらす皮膚炎や貧血の原因となりますが、それより何より怖いのが病気を媒介する寄生虫だということ。その中には愛犬を死に至らしめる病気や人に感染する可能性のある病気もあります。病気を運ぶマダニは愛犬にとっても人にとっても非常に怖いものなのです。

「ノミ」の一生

ノミは「スーパーアスリート」。なんと1回のジャンプで体長の60倍もの距離、約100倍もの高さを飛べるといいます。敏感な感覚器

官で動物の気配を察知し、抜群の跳躍力で愛犬の体に着地します。また驚異的な力はそれだけではありません。繁殖力だって驚異的です。あるデータによると、産卵直前のメスが1匹いれば、30日後には何と200倍に繁殖しそれらが生んだ卵や幼虫の数は9,000以上にのぼるというのです。

ノミが最も活動する時期は6月から8月です。つまりこれからのシーズン。暖かくなって更に梅雨でじめじめしてくるこの時期が大好きなのです。しかし、一年中暖かで湿度のある室内は冬だって高温多湿。ノミやマダニの大好きな生活環境が整ってしまうのですから予防は1年中必要です。

さて、ノミはどのような一生を送るのでしょうか？ノミは卵→幼虫→さなぎ→成虫というサイクルで成長します。このうちワンちゃんに移るのは成虫です。成虫は平均2週間～2ヶ月、条件が整えば1年近くも体表にとどまります。その間に卵を産みますが、卵は体表にはとどまらず地面に落ちます。そして室内であればじゅうたんや床の隙間、暖かくて湿っているワンちゃんの寝床などで成長します。そして孵化し、成長すると再びワンちゃんの体に飛び移ってしまうのです。長生きできないノミは素早く子孫を残します。そのために必要なエネルギー源がワンちゃんの血液なのです。1回吸血するたびに数個の卵を産み、生涯で200～500個の卵を産みます。

このライフサイクルを見ても、一度寄生されると「ノミ・スパイラル」からなかなか抜け出せないことが分かるでしょう。

